

どう組(年長児)

令和4年6月②
子生和保育園

～ぼくは「○○だ」と思ったんだ～

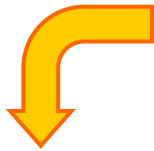
ドッチボールの始まりが曖昧だったため、始まったことに気づかず当てられてしまった子が、気持ちを伝えている場面です。

ぼく、始まったって
知らなかったよ！

2人は自分の思いを言葉にして
伝え合っています。



でももう始まってたんだよ！



解決が難しい様子だったので、ドッチボールが再開するのを待っている友達に、保育士が「どうしたらいいと思う？」と声を掛けました。

新たに友達の意見も加わったことで、お互い納得することができ、その後ドッチボールが再開しました。

友達と一緒に遊んでいると、考えや意見の違いから喧嘩になることもあります。そのような経験を積み重ねていく中で、自分のしたいことや相手にしてほしいこと
の言葉による伝え方や、時には気持ちに折り合いをつけることも必要だということを理解していくようになります。